

『豊岡市史・下巻』正誤表

ページ	行	誤	正
九五	一六	察せられる。	察せられる(表30)。
一一五	一	とある。	とある(『兵庫県物産調査書』)。
一四五	一一	(明治十九年『兵庫県漁業慣行録』)	(明治二十二年『兵庫県漁業慣行録』)
〃	一五	鯛網・籠	鯛網
一五一	一四	田久日村より瀬戸村に対し、	瀬戸村より田久日村に対し、
三七八	三	円山川大橋	円山大橋
四三八	一四	上がっている。	上がっている(表122)。
〃	一五	柳行李生産地輸出停止問題	柳行李生産地輸出入問題
四三九	一三	生産額は	産額は
四四一	三	気運の	気運一籠・籠類生産一の
四四九	二	衰退した(表131)。	衰退した(表133)。
四五九	九	但馬鉄製品工業組合(代表河本正)。	但馬鉄製品工業組合(代表河本正一)。
六五一	一三	新但馬丸(香住漁協所属)	新但馬丸(兵庫県水産指導船)
六六八	三	示している。	示している(表190)。
〃	一一	躍進した。	躍進した(表191)。
六六一	二	示している。	示している(表194)。
〃	四	構成比で見ると	構成比(表197)でみると
六七二	六	反映している。	反映している(表198)
〃	八	比重を増す。	比重を増す(表199)。
六七七	一七	(表201)。	(表201・202)。
六七八	九	急上昇を見せた。	急上昇を見せた(表206)。
六七九	一七	になった。	になった(表208)。
六八二	表20	豊岡の産業別生産所得	豊岡の産業別生産所得
七三三	五	春風や日本に源氏物語	春風の日本に源氏物語
〃	六	秋風や日本に平家物語	秋風の日本に平家物語
七八九	一〇	兵庫県第五区選出の衆議院議員	兵庫県第一二区選出の衆議院議員
〃	一三	対立党の憲政会・斎藤隆夫	対立党の民政党・斎藤隆夫

ページ	行	誤	正
八〇〇	四	植村正直より、	植村正直より、
八〇三	写367	平尾道雄氏の著書から	『平尾道雄その人と史書』より
八一四	一	祝儀・仏祝儀は、惣和の膳	祝儀・不祝儀は、宗和の膳
八一六	一二	祝儀・仏祝儀に	祝儀・不祝儀に
〃	一三	客寄せには惣和の膳	客寄せには宗和の膳
八三四	一	妊婦は子どもに	妊婦は子どもに
八四〇	四	報告し、持ち帰ったと馳走で小宴を開いた。	報告した。
八四五	写362	惣和の膳	宗和の膳
八四六	写363		棺締めを行う。
八五一	八	棺締めを行い、ひとまず炉端に安置する	
八五三	一三	一男はヨコザ、女はナベザに置く。 十七・三十三・五十回忌	十七・二十五・三十三・五十回忌
八五八		〔豊岡市史(下巻)編集委員会名簿及び執筆分担一覧〕中、四人目伊藤之雄の分担	
(各表)22		(誤) II 二①、II 三①④、II 四①⑥	
		(正) II 二①③、II 三①⑥、II 四①⑥	
		歴代首長・議長・議員名簿 (4)衆議院議員	
		斎藤隆夫 (若宮貞夫の党派) 政本一政	斎藤隆夫 政(注・政友会)

宗和の膳について

金森宗和好みの黒または朱塗りの低い四足膳。茶会席用であるが、江戸時代、民間で本膳にも用いた。

〔金森宗和〕 江戸前期の茶人。宗和流の祖。飛騨高山の城主可重の長男。名は重近。父に勘当されて京都に豫居。その茶道は千利休の子道安の直伝。(『広辞苑』より)